

令和8年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

⑤学習グループ

年間指導計画

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|--|------|--|-------|---|
| 教科等名 | 国語 | | 学習グループ名 | 中⑤ | |
| 目標・ねらい | (1)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (2)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 (3)進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。 | | | | |
| 年間授業時数 | 105 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 光村図書 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | 世界はうつくしいと握手 文法への扉1 | 10 | ・詩を読んで気づいたこと(表現の工夫・作者の意図・特徴的な表現など)を探し、書き出す。 登場人物の心情や人物像を読み取る。 ・「わたし」とルロイ修道士との間で交わされた、3回の握手に込められた二人の思いを考える ・文節・連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深める。 | | ◇言葉・文字の使い方・リズム・表現技法などに着目させる。 ◇語り手の心情を表す言葉、登場人物の言動や会話、情景描写、出来事など、本文中の表現を根拠にして考えさせる。 |
| 5 | 学びて時に之を習ふ ——「論語」から作られた「物語」を超えて | 5 | 「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 ・教材の書き下し文や訓読文を、漢文の言い回しや歴史的仮名遣いと現代仮名遣いに注意して、繰り返し朗読する。 筆者の主張を捉える。 ・筆者は、作られた「物語」を超えて真実を知るために、どうすべきだと主張しているか、要約する。 | | ◇必要に応じて、P38-40の脚注を参考に、訓読の方法や返り点の種類などを確認させる。 ◇筆者が指摘する人間の性質について、思い当たる事例を一つ挙げ、今後どのようなことを意識していきたいか簡潔にまとめる。 |
| 6 | 俳句の可能性 「書く」俳句の創作教室 俳句を味わう 言葉の釣り糸を垂らす | 6 | 「俳句の創作教室」に取り組む。 ・示された作句法などを基に、俳句を作る。 ・本文の例を参考に、「言葉の釣り糸」を垂らす「実験」を行うことで引き出された記憶や考えを、200字程度でまとめる。 | | ◇俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりさせる。 ◇文章中の語句・表現から、印象に残ったものや、よいと思ったものを挙げさせる。 |
| 7 | 言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 読書を楽しむ | 4 | 教材文を読み、和語・漢語・外来語・混種語について理解する。 「『私の一冊』の紹介」、「ブックレビュー」、「三年間の読書の振り返り」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 | | ◇話す相手を自由に設定し、P75上段にある文章をわかりやすく書き換える。 ◇活動を行い、レポートか活動報告書を提出する。 |
| 9 | 挨拶 原爆の写真によせて 故郷 慣用句ことわざ・故事成語 | 8 | ・詩の中で繰り返し出てくる「顔」が、それぞれ誰の、どのような様子を表しているのか考える。 ・生き方や社会を考えるうえで、読書にはどんな意義があると感じたかを挙げる。 ・ことわざや故事成語の意味を調べる。 | | ◇最後の場面で「私」が考える「新しい生活」や「希望」とはどのようなものか、「私」とルントウ、ホンルとシュイジョンの関係などを踏まえて考える。 |
| 10 | 複数の意見を読んで、考えよう 考えを効果的に伝えよう 文法への扉2 | 7 | ・3人の筆者が、環境問題を解決するために、今、何が必要だと考えているか、それぞれの提言の要旨をまとめる。 ・地域社会で見聞きしたことや、新聞、テレビなどのメディアを通して知ったことの中から、関心のある事柄を選ぶ。 | | ◇題名や文章の結論部に着目させ、筆者が読者に最も伝えたいことを捉えさせるとよい。 ◇自分の考えについて、具体的な根拠や資料などを挙げさせて、説得力をもたせる。友達と意見を交流させて、さらに考えを深めさせるとよい。 |
| 11 | 君待つと ——万葉・古今・新古今 夏草 ——「おくのほそ道」から | 5 | ・歴史的仮名遣いに気をつけて朗読させ、脚注を参考に、長歌や反歌など和歌の形式を味わわせる。 ・芭蕉が高館や光堂で何を見て何を感じたのかを考える。 | | ◇三つの歌集に収められた和歌を比較し、特徴的な表現やその効果について、評価する。 ◇作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表する。 |
| 12 | 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く | 4 | ・地域社会や学校生活の中から課題を見つけ、クラスで一つ議題を決める。 | | ◇「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする。 |
| 1 | 温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 | 5 | ・時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 ・本文の語句を根拠に筆者のものの見方・考え方を読み取る。 | | ◇自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 |
| 2 | 初日 漢字に親しもう5 | 3 | ・詩に描かれた情景や作者の思いを想像し、その内容について話し合う。 | | ◇抽象的な表現や構成、表現技法などについて気づいたことを話し合わせる。 |
| 3 | 国語の力試し | 1 | ・40分を目安に問題を解く。 ・解き終わったら、解答と採点基準を確認し、自己採点をする。 | | ◇タブレットやパソコンで問題に取り組んだり、解答を確認したりさせるとよい。 |
| 通年 | | | | | |

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|--|------|---|---|---------|
| 教科等名 | 社会 | | 学習グループ名 | 中⑤ | |
| 目標・ねらい | (1)日本の歴史の大きな流れや、経済・政治・国際社会の仕組みを理解する。 (2)資料から多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現する力を養う。 (3)現代の社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。 | | | | |
| 年間授業時数 | 147 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 東京書籍「新しい社会 歴史」、日本文教出版「新しいみんなの公民」 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | 指導上の工夫 | |
| 4 | <歴史的分野> 第6章 二度の世界大戦と日本 | 24 | ○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢を理解する。 | ・複雑な日本と世界の間関係を理解できるよう、短い動画などを適宜使用する。 ・社会での当事者意識を持つことができるよう、身近な話題を教材として使用する。 ・「公民」という分野が自らの生活と密接に関わるものであることを理解するため、実体験など想像しやすい題材を扱う。 ・小テストなどを行い、苦手な分野を把握して、重要語句を確認できるプリントを用意する。 | |
| 5 | | | | | |
| 6 | 第7章 現代の日本と私たち | 25 | ○冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 | | |
| 7 | | | | | |
| 9 | <公民的分野> 第1章 私たちの暮らしと現代社会 | 17 | ○地理や歴史で学んできたことをもとに、私たちの暮らしや考え方に生じてきた様々な変化や影響を確認する。 | | |
| 10 | 第2章 個人を尊重する日本国憲法 | 15 | ○憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶ必要があるのかについて興味・関心をもつ。 | | |
| 11 | 第3章 私たちの暮らしと民主政治 | 15 | ○民主主義という考え方のもつ意義や特徴を理解し、身近な暮らしの中で果たしている役割に気付く。 | | |
| 12 | 第4章 私たちの暮らしと経済 | 13 | ○ものを交換することの意義や、その際に貨幣の果たす役割に気付く、身近な暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。 | | |
| 1 | 第5章 安心して豊かに暮らせる社会 | 13 | ○生まれてからこれまでの私たちの15年間の暮らしは、どのように営まれてきたのかを理解する。 | | |
| 2 | 第6章 国際社会に生きる私たち | 15 | ○国際社会が抱えている課題を捉え、「持続可能」な社会の実現に向けた取り組みが国際社会に求められていることに気付く。 | | |
| 3 | 終章 私たちが未来の社会を築く | 10 | ○日本国憲法の平和主義に関する理解を深め、我が国の国際貢献のあり方について考えるとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。 | | |
| 通年 | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|---|------|-------------------------------------|-------|---|
| 教科等名 | 数学 | | 学習グループ名 | 中⑤ | |
| 目標・ねらい | (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2)事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 140 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 学校図書「中学校 数学 3」 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | 式の計算 | 18 | ○多項式の計算、乗法公式、因数分解 | | <ul style="list-style-type: none"> ・予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。 ・今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。 ・パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。 |
| 5 | | | | | |
| 6 | 平方根 | 15 | ○平方根の大小、有理数と無理数、根号をふくむ式の計算 | | |
| 7 | 2次方程式 | 15 | ○2次方程式とその解、2次方程式の解の公式 | | |
| 9 | 関数 $y = ax^2$ | 18 | ○2乗に比例する関数、グラフ、いろいろな関数 | | |
| 10 | 相似な図形 | 22 | ○相似な図形の性質と条件、平行線と線分の比、相似な図形の面積比・体積比 | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | 円 | 12 | ○円周角と中心角、円周角の定理 | | |
| 1 | 三平方の定理 | 14 | ○三平方の定理、三平方の定理の利用 | | |
| 2 | 標本調査 | 9 | ○全数調査と標本調査、推定 | | |
| 3 | 1年間の振り返り | 17 | ○3年生で学んだ内容の振り返り | | |
| 通年 | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|---|------|--|-------|---|
| 教科等名 | 理科 | | 学習グループ名 | 中⑤ | |
| 目標・ねらい | (1) 自然の仕組みや現象への関心を育み、疑問やアイデアなどをもち、主体的に思考する。 (2) 自然の仕組みや現象への理解を深め、科学的に探究する能力を育てる。 (3) 人間と自然のかかわり方について自分の考えをもてるようになる。 | | | | |
| 年間授業時数 | 140 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 啓林館 「未来へ広がるサイエンス3」 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | 化学変化とイオン | 12 | ○水溶液とイオン、化学変化と電池 ◆電解液の仕組みを理解する。 ◆イオンを理解する。 | | 化学変化の基本的な概念や原理・法則などを観察や実験、イオンのモデルと関連付けながら、実際に体験し理解を深めていく。 |
| 5 | | 12 | ○酸、アルカリとイオン ◆酸・アルカリの性質を知る。 ◆中和と塩について理解する。 | | |
| 6 | 生命のつながり | 16 | ○生物の生長と増え方 ◆細胞分裂と成長を関連付けて考える。 ◆有性、無性生殖の特徴を理解する。 | | 観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と増え方について特徴や規則性を見出し、見識を広める。科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが充実する機会をもつ。 |
| 7 | | 8 | ○遺伝の規則性と遺伝子 ◆遺伝の仕組み、規則性を理解する。 ◆遺伝子の働きを理解する。 | | |
| 9 | 自然界のつながり | 12 | ○生物同士のつながり ◆生物間のつながりを考える。 ○自然界を循環する物質 ◆生物と自然環境との循環を理解する。 | | |
| 10 | 運動とエネルギー | 16 | ○力のはたらき ◆力のつり合いを説明できる。 ◆力の合成・分解ができる。 ○物体の運動 ◆力と運動の変化の関係を理解する。 | | 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、エネルギーを観察や実験を通し、実際に体験し理解を深めていく。生徒の実態に応じ、十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにする。 |
| 11 | | 16 | | | |
| 12 | | 12 | ○仕事とエネルギー ◆力学的エネルギー保存を理解する。 ◆エネルギーの利用方法を知る。 | | |
| 1 | 地球と宇宙 | 12 | ○天体の1日の動き、1年の動き ◆地球の自転・公転を理解する。 ○月と惑星の運動 ◆太陽や惑星、月の特徴を理解する。 | | 観察、実験や科学資料集や文献の図版などを用いて、結果や資料を分析して解釈し、身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、宇宙についての基本的な概念や原理・法則を見出し、見識を広める。 |
| 2 | | 16 | ○太陽系と銀河系 ◆太陽系の広がりを知る。 ◆宇宙の観察されている現象を知る。 | | |
| 3 | 地球の明るい未来のために | 8 | ○自然環境と人間のかかわり ◆自然のめぐみと自然災害を学ぶ。 ○くらしを支える科学技術 ◆技術発展と環境への影響を理解する。 ○大切なエネルギー資源 ◆環境保全の重要性を理解する。 | | 身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について理解を深める。 |

| 学 部 | ▼ 選択してください | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|----------|--|------|---|-------|--|
| 教科等名 | 音楽 | | 学習グループ名 | | 中⑤ |
| 目標・ねらい | (1) 音楽活動お楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。 | | | | |
| 年間授業時数 | 35 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学音楽1-3 音楽のおくりもの」 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | 曲想を感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう | 3 | ○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「花」「荒城の月」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆曲想を感じ取り、表現を工夫することができる。 | | ・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。 |
| 5 | 小フーガ短調曲の形式を捉えよう | 3 | ○鑑賞「小フーガ短調」 ◆パイプオルガンの音色を味わう。 ◆フーガという曲の構成を理解する。 | | ・パイプオルガンの仕組みが分かりやすいよう、動画やイラストを用いる。 |
| 6 | アンサンブルを楽しもう | 4 | ○合奏「くいしんぼうのラップ」「DO-RE-MI」 ◆リズムを理解して演奏できる。 ◆鍵盤楽器を演奏し、アンサンブルを楽しむことができる。 | | ・見やすくわかりやすい楽譜を提示する。 ・オノマトペを使って、リズムを捉えやすくする。 |
| 7 | 情景を思い浮かべながら表現しよう | 3 | ○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「夏の思い出」「浜辺の歌」 ◆歌詞の意味や情景を想像して歌唱表現することができる。 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。 | | ・情景を想像しやすくするため、画像を用いる。 ・歌詞の意味を分かりやすくするため、現代の言葉で説明する。 |
| 9 | 曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう | 3 | ○鑑賞 組曲「惑星」から第1曲「火星」 ◆オーケストラの響きを味わう。 ◆曲の特徴を捉え、タイトルと結び付けて鑑賞することができる。 | | ・情景を想像しやすくするため、画像を用いる。 |
| 10 11 | 合唱を楽しもう | 7 | ○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○合唱「翼をください」「コスモス」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆ハーモニーも美しさを感じ取り、表現することができる。 | | ・ストレッチをしっかりと行う ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。 |
| 12 | 音の重なりを感じよう | 3 | ○合奏 讃美歌 ◆ハーモニーの美しさや移り変わりを感知することができる。 ◆友達とテンポを合わせて演奏することができる。 | | ・見やすくわかりやすい楽譜を提示する。 |
| 1 | 日本の調べに親しもう | 3 | ○鑑賞 箏曲「六段の調べ」 ○箏演奏「さくらさくら」 ◆箏の音色や表現を味わいながら鑑賞する。 ◆箏のしくみを知り、簡単な曲を演奏できる。 | | ・楽器の仕組みを理解しやすくするため、実際に箏を使用する。 |
| 2 | 音楽の背景を理解して鑑賞しよう | 4 | ○西洋音楽史 ◆有名な作曲家の曲や有名楽曲をたどり、クラシック音楽への理解を深めることができる。 ○「フルタバ」 ◆情景を想像し、鑑賞することができる。 ◆作曲者の思いを感じ取りながら曲を鑑賞することができる。 | | ・日本の歴史と比べられる年表を使用する。 ・情景をイメージしやすくするため画像を用いる。 ・歴史的な背景について説明をする。 |
| 3 | 卒業に向けて | 2 | ○歌唱「旅立ちの日に」「いのちのうた」 ◆ブレスや強弱、フレーズを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 | | ・ストレッチをしっかりと行う ・強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。 |
| 通年 | | | | | ・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。 |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | | 準ずる教育課程 | | |
|--------|---|------|---|--|--|--|--|--|
| 教科等名 | 美術 | | 学習グループ名 | | | 中⑤ | | |
| 目標・ねらい | (1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なものの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。 | | | | | | | |
| 年間授業時数 | 45 単位時間 | | | | | | | |
| 使用教科書 | 開隆堂出版「美術2・3」 | | | | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | | 指導上の工夫 | | |
| 4 | 【絵画・彫刻】 色彩の仕組み 自由な視点で風景を見つめる | 20 | ○鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 ○見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 ○主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 ◆普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に生かせるように丁寧に指導する。 作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す 技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。 | | |
| 5 | | | | | | | | |
| 6 | 【デザイン・工芸】 日本の技と心を受け継いで | | ○自然や季節感を取り入れた、日本の伝統美術や工芸品の形や色彩、材料、技法に着目し特性について理解する。 ○自然のよさや季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面を基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考えアイデアスケッチをする。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。 ◆生活に息づく工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、自然や季節感、地域素材を取り入れた日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料、技法、作風などの効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。 | | | | | |
| 7 | | | | | | | | |
| 9 | 【絵画・彫刻】 刷って楽しむ版画の世界 「ステンシル」 | | 20 | ○版による表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ◆表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す 技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。 作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す 技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。 | |
| 10 | | | | | | | | |
| 11 | 【デザイン・工芸】 ひと目で伝わる みんなのデザイン | | | ○身の回りにおけるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。 ◆ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。 | | | | |
| 12 | | | | | | | | |
| 1 | 【絵画・彫刻】 筆と水で多彩に表す | 5 | | ○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ◆墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す 技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。 |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | |
| 通年 | 鑑賞 | | 自他の作品を鑑賞して、良い点を発表する。 | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 保健体育 | 準ずる教育課程 | 中⑤ |
|--------|---|------|--|---------|------|--|----|
| 教科等名 | 保健体育 | | | 学習グループ名 | | | |
| 目標・ねらい | (1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 | | | | | | |
| 年間授業時数 | 39 単位時間 | | | | | | |
| 使用教科書 | 中学保健体育 | | | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | | 指導上の工夫 | |
| 4 | 体育祭に向けて 陸上競技・球技 | 9 | ○集合、整列、集団行動 | | | ・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 | |
| 5 | | | ○課題走球技など | | | | |
| 6 | 水泳 | 7 | ○水慣れ、浮き身、泳法指導 | | | ・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。 | |
| 7 | 保健「健康と環境」 | | ○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方 | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10 | 集団行動・マスゲーム ダンス | 12 | ○集団行動・ダンス | | | ・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。 | |
| 11 | 保健「健康な生活と疾病の予防」 | | ○生活習慣病の起こり方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響 | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 1 | 生涯スポーツ・武道 | 11 | ○生涯スポーツ | | | ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。 | |
| 2 | 保健「文化としてのスポーツ」 | | ○剣道：基本動作・面・小手 | | | | |
| 3 | | | ○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方 | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 技術・家庭 | 準ずる教育課程 | 中⑤ |
|--------|--|------|--|-------|--|---------|----|
| 教科等名 | 技術・家庭 | | 学習グループ名 | | | | |
| 目標・ねらい | (1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にする心情を育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。 | | | | | | |
| 年間授業時数 | 35 単位時間 | | | | | | |
| 使用教科書 | 技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」 | | | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 | | |
| 4 | ○生活や社会を支える技術 | 1 | ○技術の役割 ○問題の発見と課題の設定 | | ・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。 ・ICT具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や実例紹介や実習などを通して、理解や思考の支援を行う。 | | |
| 5 | ○計測・制御のプログラミングによる問題解決 | 16 | ○計測・制御システムとは ○問題の発見と課題の設定 | | | | |
| 6 | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 9 | ○技術分野の学習の振り返り | 1 | ○技術の工夫・創造と私たちの未来 | | | | |
| 10 | ○食生活を豊かにするために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素 ・日常食の調理 | 11 | ○五大栄養素 ○6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやす ○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け) | | ・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。 ・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする | | |
| 11 | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | ○家族・家庭生活 | 6 | ○家族・家庭や地域との関わり ○幼児の生活と家族 ○家族・家庭生活についての課題と実践 | | ・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・課題解決学習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする。 | | |
| 3 | | | | | | | |
| 通年 | | | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|---|------|---|-------|--|
| 教科等名 | 外国語 | | 学習グループ名 | | 中⑤ |
| 目標・ねらい | (1) 英文の形・意味・用法を理解し、日常的な話題について英文の概要を捉える技能を身につける。 (2) 話の内容を把握して適切に応答するために、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、英語で話をしたり文章を書いたりする。 (3) 日常的な話題や社会の話題、文化などについて、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。 | | | | |
| 年間授業時数 | 140 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | 東京書籍「NEW HORIZON 3」 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | Unit0 Discover a New Side of Classmates | 11 | 現在形、過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、夢中になっていることやその理由などを伝え合うことで既習事項の復習をする。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。 ・視聴覚教材を活用して、音声と文字が結び付くようにする。 ・授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティブの発音やイントネーションにふれる。 ・学習内容の理解の定着を図るため、プリントやワークを用いる。 ・ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。 |
| 5 | Unit1 What is special about Japanese pop culture? | 12 | 現在完了(経験用法)、SVOC、SVOO(that節)の文を理解し、経験や人の気持ちや状態の変化について伝え合う。 | | |
| 6 | Unit2 How do you choose your clothes? | 12 | 現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を理解し、今の状況や続いている状態や動作についての情報を尋ね合う。 | | |
| 7 | Unit3 How can we save animals? | 11 | It is ... (for+人など) +to、want+ (人など) +to、let (help) + (人など) + 動詞の原形の文を理解し、人にとって大切だと思うことや人にしてほしいことなどについて伝え合う。 | | |
| 9 | Let's Read1 A Mother's Lullaby | 12 | 場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の变化や登場人物の心情を読み取る。 | | |
| 10 | Unit4 How can we help each other in a disaster? | 12 | 関係疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞の文を理解し、言葉に情報を加えて、事実や気持ちを話す。 | | |
| 11 | Unit5 What makes a good leader? | 12 | 名詞を修飾する文、関係代名詞 who , that (which) (主格・目的格)を理解し、言葉に詳しい情報を加えて話す。 | | |
| 12 | Unit6 What does it mean to be a global citizen? | 11 | 仮定法と主語を説明する関係代名詞を理解し、現実とは異なる願い事やできたらよいと思うことを伝え合う。 | | |
| 1 | Let's Read2 Power Your Future | 11 | 長所と短所を比較して述べる文章、エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる。 | | |
| 2 | Let's Read3 Coloring Outside the Lines | 11 | 人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る。 | | |
| 3 | 1年間のまとめ | 15 | 既習事項の復習を行い、学習内容を確認・復習をする。 | | |
| 通年 | ALTとの英語でのやり取りを中心とした学習 | 10 | ALTと英語でやり取りして他国の文化に触れる。 | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|--|------|---|---------|---|
| 教科等名 | 道徳 | | | 学習グループ名 | 中⑤ |
| 目標・ねらい | (1) 生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。 (2) 責任をもってやり抜こうとする実践意欲を養う。 (3) 自他の生命を大切にすることを養う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 36 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | あすを生きる2 | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | おじさん役と私 おばちゃんのかれた おまじ ない、 挨拶は言葉のスキンシップ | 3 | 向上心、個性の伸長 勤労 礼儀 | | 一人ひとりに必ず自分らしいよさがあり、自分を受け入れたうえで広い視野と向上心をもって磨くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする態度を育む。 |
| 5 | 五月の風ーカー 五月の風ーミカー リスペクト アザース 名乗り出なかった友 | 8 | 希望と勇氣、 克己と強い意志 自主、自律、自由と責任 友情、信頼 公正、公平、社会正義 | | 物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。 |
| 6 | 戦争を取材する 時を越えて | | 思いやり、感謝 真理の探究、創造 | | |
| 7 | 父の決意 和樹の夏祭り | 2 | 生命の尊さ 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | | 命は自分だけのものではなく、家族などとの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生き抜こうとする態度を育てる。 |
| 9 | 他人の靴を履いてみる ネット将棋 樹齢七千年の杉 あすを生きる1 | 3 | 相互理解、寛容 公正、公平、社会正義 自主、自律、自由と責任 感動、畏敬の念 | | ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対しても自分から理解しようとする態度を育てる。 |
| 10 | 上勝から世界を変える 美しい鳥取砂丘 | 4 | よりよく生きる喜び 勤労 自然愛護 遵法精神、公德心 | | 自分の弱さや未熟さを認めようとして、自分のやってきたことや可能性を信じることが人間としての強さにつながっていくことの自覚を通して、人間として気高く生きようとする態度を育てる。 |
| 11 | 行動する建築家 坂 茂 夜のくだもの屋 アフガニスタンの人々と共に | 4 | 思いやり、感謝 国際理解、国際貢献 よりよい学校生活、 集団生活の充実 | | 人間はさりげない善意や深い思いやりによって支えられ守られていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもって人と接しようとする態度を育てる。 |
| 12 | 命を見つめて 一猿渡さんの六百四十六日 行く年、来る年 | 2 | 生命の尊さ 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 | | 伝統文化の形は時代によって変化するが、生活の中の願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。 |
| 1 | コトコの涙 マークはなんのために? 最後のパートナー | 3 | 相互理解、寛容 社会参画、公共の精神 生命の尊さ | | 困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的によりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。 |
| 2 | 避難所にて よみがえれ、えりもの森 足袋の季節 恋する涙 | 4 | 節度、節制 自然愛護 よりよく生きる喜び 友情、信頼 | | 人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら守り大切にしようとする態度を育てる。 |
| 3 | 包む きいちゃん | 3 | 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 家族愛、家庭生活の充実 | | 家族は一人ひとりが深いきずなで結ばれたかけがえのない存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていこうとする心情を育てる。 |
| 通年 | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学1年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|--|------|---|---------|--|
| 教科等名 | 総合的な学習の時間 | | | 学習グループ名 | |
| 目標・ねらい | (1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協働的にとりくむ経験を積む。 | | | | |
| 年間授業時数 | 81 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 4 | 自己紹介 今年度の目標設定 | 5 | ◆自分のことを自分の言葉で表現 ◆自己の目標、グループの目標を設定する。 | | (1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協働的にとりくむ経験を積む。 |
| 5 | 校外学習(事前学習) | 8 | ◆都庁についての調べ学習・発表・しおり作成 | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | 校外学習(事後学習) | 4 | ◆校外学習で学んだことを振り返り・まとめる | | |
| 9 | 2学期の目標設定 情報リテラシー学習 | 6 | ◆自己の目標、グループの目標を設定する。 ◆情報リテラシー、SNSの使い方、インターネットの適切な使い道を身に付ける。 | | |
| 10 | 防災学習 | 12 | ◆学校周辺の防災マップを作成し、防災についての知識を深める。 | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | 進路学習 | 6 | ◆人生予想図の作成 ◆適正把握や、高校、大学、職業についての調べ学習 ◆高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。 | | |
| 1 | 3学期の目標設定 ビジネスマナー | 8 | ◆自己の目標、グループの目標を設定する。 ◆礼儀やマナーについて考え、話し合う。 | | |
| 2 | 買い物学習 | 4 | ◆公共施設を利用するときのマナーを学ぶ。 | | |
| 3 | 1年間の振り返り | 4 | ◆目標をもとに、一年の振り返りを行う。 | | |
| 通年 | 栽培活動、読書活動 | 24 | 作物や植物を栽培する。学校図書館を利用する。 | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | |
|--------|--|------|--|-------|---|
| 教科等名 | 特別活動 | | 学習グループ名 | | |
| 目標・ねらい | (1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。 | | | | |
| 年間授業時数 | 35 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | ○主な学習内容、◆ねらい | | 指導上の工夫 |
| 4 | オリエンテーション | 1 | ○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。 | | ・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 |
| | 新入生歓迎会 | 2 | ○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。 | | ・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。 |
| 5 | 体育祭 | 4 | ○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち参加する。 | | ・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 |
| 6 | レクリエーション | 3 | ○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。 | | ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 |
| 7 | 1学期を振り返って | 1 | ○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 | | ・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 |
| 9 | 2学期の予定 | 1 | ○2学期の主な行事予定を確認する。 | | ・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心を |
| | 修学旅行 | 4 | ○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。 | | ・見学先の写真や映像などの資料を用意する。 ・他の学習グループの仲間とコミュニケーションがとれる場面を設定する。 |
| 10 | 墨東祭へ向けて | 8 | ○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。 | | ・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。 |
| 11 | | | | | |
| 12 | 2学期を振り返って | 1 | ○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。 | | ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。 |
| 1 | 3学期の予定 | 1 | ○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 | | ・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 |
| 2 | 卒業制作① | 5 | ○卒業制作(オリジナル時計作り)に取り組む。 ◆時計のデザイン選びやフレームの色付けなどを教員と一緒に取り組むことができる。 | | 自分でデザインや色を選択することができるように二択で提示する。個々の特性に合わせた補助具を使用して製作する。 |
| 3 | 卒業に向けて | 4 | ○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。 | | ・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。 |
| 通年 | | | | | |

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

| 学 部 | 中学部 | 学 年 | 第3学年 | 教育課程名 | 準ずる教育課程 |
|--------|---|------|--|-------|--|
| 教科等名 | 自立活動 | | 学習グループ名 | | 中⑤ |
| 目標・ねらい | (1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。 | | | | |
| 年間授業時数 | 71 単位時間 | | | | |
| 使用教科書 | なし | | | | |
| 月 | 単元(題材)名 | 指導時数 | 主な学習内容 | | 指導上の工夫 |
| 通年 | 身体の取り組み コミュニケーション | 71 | <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ・歩行練習 ・手指の操作性を高める取り組み ・全身の運動性を高める取り組み ・視機能を高める取り組み ・コミュニケーションゲーム | | <ul style="list-style-type: none"> ・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。 |